

来週の「売り物」記事はこれ



2011年7月1日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ロングインタビュー「時代を駆ける」

「テーブルフォーツ」代表、小暮真久さん

5日から2週・10回

低カロリーのヘルシーメニューを食べると、1食あたり20円が飢餓に苦しむアフリカの子供たちに寄付される。「TABLE FOR TWO」(テーブルフォーツ、TFT)と呼ばれる日本発の取り組みには、現在415の企業・団体が参加しています。

主宰するNPO(特定非営利活動法人)の代表を務める小暮真久さん=写真=は、米大手コンサルティング会社を経て独立した38歳。TFTは『「いいことをしたい」という思い=需要に応えるビジネスモデル』と語り、社会貢献をビジネスにする「社会事業」に挑戦しています。新たな価値観で仕事に挑む「青年実業家」に、着想から工夫、広がりから構想まで、語ってもらいます。



連載企画「インサイド」

大相撲・再生への一歩 —— 名古屋場所を前に

運動面 5日から



八百長問題に揺れた大相撲は、親方・力士計25人を角界から追放するなど異例の事態を経て、再出発の途につこうとしています。大阪場所の中止、技量審査場所に名前を変えた夏場所を経て、7月10日初日の名古屋場所で、初場所以来の通常開催をします。しかし、土俵を見る世間の目はまだ厳しいといわざるをえません。再発防止策の不十分さや、相撲のレベル低下も指摘される中、大相撲は信頼と人気を取り戻すことができるのでしょうか。再生への第一歩を踏み出す名古屋場所を前に、運動面の連載企画「インサイド」で5日から5回にわたり、相撲界の現状をレポートします。

東日本大震災暮らしどうなる・放射能のリスクとは？

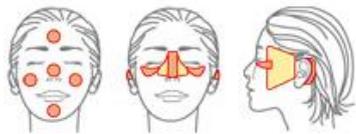
くらしナビA面 6日(水)

福島第1原発事故=写真=で関心が高まる放射能問題ですが、人体に与える影響についてはいまだによくわからないと不安視する人が多いです。そもそも放射能にはどんなリスクがあり、どこまで解明されているのか。国立がん研究センターの討論会を基に、改めて紹介します。



おしゃれに涼しく（メイク、ヘアスタイル編）

くらしナビB面 7日（木）



今夏は節電が欠かせませんが、ただ涼しければいいのではなく、おしゃれも同時に大切にしたいという女性が多いです。既に掲載した「着こなし編」に続き、今回はメイクとヘアスタイルがテーマです。手軽に涼しくきれいになれる技を専門家に教えてもらいます。

子どもの低身長問題

くらしナビA面 5日（火）

標準より極端に背が低い子どもの「低身長」問題が注目されています。どの程度のレベルだと治療が必要かをはじめ、低身長となる理由や治療法などについて詳しく説明します。また、実際に治療を受けた男子高校生のケースについても具体的に紹介します。



あの人に読んでもらいたい!?

田原総一郎、保阪正康が選ぶ首相の「引き際」ベスト5

夕刊特集ワイド面 7月5日（火）



国会がおかしなことになっています。「退陣」の意向を示したはずなのに、菅首相は時に「解散」をちらつかせながら続投に意欲満々のようです。けれども、そのかたくなな姿勢は野党のみならず、与党内からも反発を招き国会は空転。「政治の力」を求めている被災者の存在は置き去りにされたまま、政局絡みの展開になっています。戦後66年で、この国の舵取りを担ったトップは30人余。引き際に際してはさまざまなドラマが生まれました。深く後継者に託した宰相がいれば、権力に汲々（きゅうきゅう）としたあげく政治家としての声望を失った政治家も……。人間社会で最も難しいとされる、権力の交代劇である「引き際」。果たして、明日につなげる「引き際」を演じた宰相とは――。永田町をウォッチし続けてきたジャーナリストの田原総一郎さん＝写真左、昭和史研究家の保阪正康さん＝同右＝らがじっくり吟味してベスト5を選びました。

“知りたいが分かる、がモットーの「夕刊 特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。